

ルーマニアにおけるコンテンツ市場

基礎調査

2008年3月

日本貿易振興機構(ジェトロ)

本報告書に関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

輸出促進課

〒107-6006

東京都港区赤坂1丁目12番32号

TEL：03-3582-5313

FAX：03-5572-7044

【免責条項】

ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえ、ジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

アンケート返送先 FAX 03-5572-7044

ジェトロ 輸出促進課 宛

(平成 20 年 3 月現在)

● ジェトロ海外マーケティング調査報告書のご利用アンケート ●
～「ルーマニアにおけるコンテンツ市場」～

本レポートをご利用頂き、誠にありがとうございました。
ジェトロの今後のサービス向上に向けて、皆様のご意見を伺いたく存じますので、アンケートにご記入下さいますようお願い申し上げます。

- 質問 1：本報告書は、ルーマニアにおけるコンテンツ市場状況をご紹介し、日本企業の皆様の参考資料になることを目的に作成いたしました。どの程度満足されましたか？
(○をひとつ)

4：満足 3：まあ満足 2：やや不満 1：不満

- 質問 2：上記のように判断された理由、またその他本報告書に関するご感想をご記入ください。

--

- 質問 3：その他、ジェトロへの今後のご希望等がございましたら、ご記入願います。

--

ふりがな お名前		会社・団体名	
部署		役職名	
住所			
TEL		FAX	
Email		H P	

～ご協力ありがとうございました～

★今後、お客様のご関心のあると思われるジェトロおよび関係機関の各種事業、調査等のご案内の可否につき、該当欄に✓をご記入願います

< 送付可 送付不可 >

★ ご記入頂いたお客様の情報は適切に管理し、ジェトロのサービス向上のために利用します。

お客様の個人情報保護管理者：輸出促進課長 TEL:03-3582-5313

日本貿易振興機構(ジェトロ)輸出促進課 〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 6 階

Eメール：EXA@jetro.go.jp

目次

はじめに.....	5
I. 日本アニメ市場.....	6
1) テレビ放送.....	6
2) アニメファン団体.....	11
3) アニメ放送の影響による新しいトレンド.....	12
II. マンガ市場.....	14
1) マンガ普及の状況.....	14
2) マンガ出版会社.....	14
III. テレビ業界.....	16
IV. 映画市場.....	19
1) 映画館数と入場料の推移.....	19
2) 日本映画・アニメ上映状況.....	22
3) VHS、DVD、CDの売り上げ状況.....	25
4) ルーマニアでの映画・製作.....	26
V. 関連企業ディレクトリ.....	28
1) アニメ関連.....	28
2) アニメ団体関連.....	29
3) 書籍関連.....	29
4) テレビ・映画関連.....	30
5) DVD 関連.....	31

はじめに

本レポートは、ルーマニアにおけるコンテンツ（アニメ、マンガ、映画）の市場に関する基礎項目を整理し、日本企業がルーマニアにおいて事業展開する際の参考資料として作成したものです。今回の基礎情報の収集は、ジェトロ・ブカレスト事務所が実施しました。

ルーマニアでは、日本アニメ、マンガ、映画の流通がまだ初期段階にあります。2,000万人を越える人口を抱えるルーマニアでは、日本に興味を持つ人は多くはないものの、日本語、アニメなどを通じて着実に日本のファンが増えています。

ルーマニアで一般公開されている各種統計資料、データベースは非常に少ないため、業界関係者の協力を得ながら、どのように日本のアニメ、マンガ、映画が流通しているのか、調査を行いました。

本レポートが、日本製コンテンツを海外に展開するビジネスの一助となれば、幸いでありませう。本調査にご協力いただいた皆様に、心からお礼申し上げます。

日本貿易振興機構（ジェトロ）

I. 日本アニメ市場

1) テレビ放送

ルーマニアにおいて日本のアニメが初めてテレビ放送されたのは、1970年代の国営放送（地上波）「カリメロ(日・伊合同作品)」であり、現在に至るまで、60作品以上放送された。その後、1990年代後半は地上波で1～2本日本アニメが放送されたが、2008年3月現在、地上波で日本のアニメは全く放送されておらず、ケーブルテレビまたは衛星放送でのみ放送されている。

表1 ルーマニアにおけるアニメ番組のテレビ放送局

放送局名	日本アニメ作品放送の有無
「アニマックス (ANIMAX)」	有
「AXN」	有
「ジェティックス (Jetix)」	有
「ミニマックス (MINIMAX)」	無
「カートゥーンネットワーク (Cartoon Network)」	無

現在「アニマックス」は、アニメ専用チャンネルで毎夜日本のアニメを放送している。2006年ソニー・ピクチャーズが当時のアニメ専用チャンネル「アー・プラス (A-Plus)」を買収し設立した。「AXN」では、不定期に日本アニメを放送している。「ジェティックス」では午前7時から午前2時まで主に米国アニメ・ドラマを放送し、2008年3月時点で放送されている日本アニメは「NARUTO」のみである。

上記3局の中で、日本アニメが最も放送されている局は「アニマックス」である。テレビアニメだけでなく映画やOVA(オリジナル・ビデオ・アニメーション)の放送も実施し、成功を収めている。また、幅広いファン層を獲得するため、10代の若者に人気の高いアニメから、大人向けの作品まで幅広いジャンルを放送している(同チャンネルの対象年齢は15歳から24歳)。

アニマックスの放送は毎日午後8時から午前2時までに設定されている(年間2,190時間)。幼児向け番組「ミニマックス」終了後すぐに「アニマックス」が開始される構成になっている(「アー・プラス (A-Plus)」買収後も配分された時間枠内での放送が義務付けられている)が、アニマックス放送時間帯の最初の1時間(夜8～9時)は、子供向けのアニメが放送されている。

なお、ジェティックスを除き、日本アニメのほとんどはルーマニア語のサブタイトルで放送されている。そのため、音声、効果音は日本語のままである。

表2： 「アニマックス」 参入以前に放送された日本アニメ

放送年	タイトル
1970	カリメロ
1980	火の鳥
	火の鳥 2772 愛のコスモゾーン
1990	オズの魔法使い
	ウインダリア
1991-1997	ハロー!サンディベル
	戦国魔神ゴショーゲン
	不思議の国のアリス
	星銃士ビスマルク
	百獣王ゴライオン
	キャンディ・キャンディ
	花の子ルンルン
	宇宙船サジタリウス
	アルプスの少女ハイジ
	ペリーヌ物語
	美少女戦士セーラームーン
	2001
ドラゴンボール Z	
2003	るろうに剣心
2002	NARUTO
	シャーマンキング

出所： ルーマニア・アニメファン団体『プロジェクト・サクラ』
代表コムサ氏の情報より、ジェットロ作成

表3： 「AXN」 により放送されたアニメ一覧

現地タイトル	日本語タイトル	制作国
Sakura Wars	サクラ大戦	日本
Samurai 7	サムライ 7	日本

出所： AXN ウェブサイトより、ジェットロ作成

表4： 「アニマックス」で放送された年齢制限12歳以上のアニメ

ルーマニアでの放送タイトル	日本語タイトル	制作国	年齢制限	放送回数
A-Kuei and Gachinpo	アークエとガッチンポー	日本	12	1
Bleach	BLEACH	日本	12	1
Fullmetal Alchemist	鋼の錬金術師	日本	12	1
Fullmetal Alchemist Conqueror of Shamballa	鋼の錬金術師 シャンバラを往く者	日本	12	1
Full Metal Panic!	フルメタル・パニック！	日本	12	5
Gallery Fake	ギャラリーフェイク	日本	12	2
Hakaima Sadamitsu	破壊魔定光	日本	12	4
Kiddy Grade	キディ・グレイド	日本	12	8
Megaman NT Warrior	ロックマンエグゼ	日本	12	5
NARUTO	NARUTO	日本	12	1
Read or Die Citeste sau mori	R. O. D -READ OR DIE	日本	12	4
Slayers-Micuta Vrajitoare	スレイヤーズ	日本	12	7
Slayers NEXT	スレイヤーズ NEXT	日本	12	7
Slayers TRY	スレイヤーズ TRY	日本	12	5
Spiral	スパイラル ～推理の絆～	日本	12	4
Yu Yu Hakusho	幽遊白書	日本	12	5
Yu-gi-oh	遊戯王	日本	12	4
Yu-gi-oh GX	遊戯王デュエルモンスターズ GX	日本	12	4

出所：アニマックスの Antal Solti 氏の情報より、ジェトロ作成

備考：放送回数は2004年以降。

表5： アニマックスで放送された年齢制限16歳以上のアニメ

ルーマニアでの放送タイトル	日本語タイトル	制作国	年齢制限	放送回数
Arc the Lad	アークザラッド	日本	16	4
Ayakashi Ayashi	天保異聞 妖奇士	日本	16	1
BLOOD+ - Ultima Duminică	BLOOD+	日本	16	1
Blue Gender	ブルー・ジェンダー	日本	16	8
Cowboy Bebop	カウボーイビバップ	日本	16	4
Death Note	デスノート	日本	16	1

Flăcările iluziei	炎の蜃気楼「ミラージュ」	日本	16	3
Full Metal Panic? Fumoffu	フルメタル・パニック? ふもっふ	日本	16	2
Graviation	グラビテーション	日本	16	3
Humanoid Kikaider	人造人間キカイダー	日本	16	4
Inuyasha	犬夜叉	日本	16	5
Hell Girl	地獄少女	日本	16	2
Paradise Kiss	パラダイス・キス	日本	16	4
Povesti cu Fantome	学校の会談	日本	16	4
Trigun	トライガン	日本	16	8
Nerima Daikon Brothers	練馬大根ブラザーズ	日本	18	2

出所：アニマックス社 Antal Solti 氏の情報より、ジェットロ作成

備考：放送回数は 2004 年以降。

表 6： アニマックスで放送された年齢制限無しアニメ

ルーマニアでの放送タイトル	日本語タイトル	制作国	年齢制限	放送回数
Arme pierdute	ワイルドアームズ	日本	-	3
Captain Tsubasa-Road to 2002	キャプテン翼 Road to 2002	日本	-	3
Cubix	さいころボット コンボック	日本	-	5
D. I. C. E.	ディノブレイカー	日本	-	4
F-Zero	エフゼロ	日本	-	4
Jagainu-kun	じゃがいぬくん	日本	-	3
Kaleido Star	カレイドスター	日本	-	4
Kamichu	かみちゅ！神様で中学生	日本	-	4
Kotowaza Movies	ことわざムービーズ	日本	-	3
Kyoro Chan	キョロちゃん	日本	-	2
Mary-Kate and Ashley in action	-	米国	-	5
Parappa the Rapper	パラッパパラッパー	日本	-	3
Sweet Valerian	スウィート・ヴァレリアン	日本	-	3
Tokyo Mew Mew	東京ミュウミュウ	日本	-	3

出所：アニマックス社 Antal Solti 氏の情報より、ジェットロ作成

備考：放送回数は 2004 年以降。

米国をはじめ、海外でアニメを放映するには、アニメの内容の年齢制限に細心の注意をはらわなければならない。日本ではゴールデンタイムに放送されていたアニメに対し、ルーマニアでは16歳以上の年齢制限が指定されるケースもある。

アニマックスが放送の拠点としているハンガリーでは、以前無料チャンネルで放送していた「ドラゴンボール」について、暴力的要素が多く含まれているため不適切とメディアから非難された。この経緯のため、視聴者が満足し道徳的にメディアや視聴者（=子供）の保護者からも了承を得られるアニメである必要がある。そのため、放送する国の視聴者が、暴力や性的表現をどのように受け止めているのか把握しなければならない。なお、米国では不適切と思われるシーンはすべて排除し放送するという形式も見られるが、ルーマニアで放送されるアニマックスは視聴者のニーズを重要視するため、どのようなシーンも排除せず、厳しい年齢制限を設ける事によって多方面の視聴者から受け入れられるアニメの放送を実施している。

同社は、視聴者の動向を調査しようと試みているが、アニメ放送時間は午後8時から午前2時までと限られており（それ以前はミニマックスが放送している）困難を極めている。

放映権取得については米国や日本の著作権保持者を探し出し、欧州でライセンサーがあれば紹介を受けている。特定の放映権を探している場合、困難な面も出てくるが、放映権をめぐる問題はあまり見られず、日本と米国での放映許可取得方法の差異ぐらいである。

表7： アニマックスで現在（2008年3月現在）放送中のアニメ

現地タイトル	日本語タイトル	制作国	年齢制限
Ayakashi Ayashi	天保異聞 妖奇士	日本	16
Bleach	BLEACH	日本	12
BLOOD+ - Ultima Duminică	BLOOD+	日本	16
Blue Gender	ブルー・ジェンダー	日本	16
Cubix	さいころボット コンボック	日本	
Death Note	デスノート	日本	16
F-Zero	エフゼロ	日本	
Full Metal Alchemist	鋼の錬金術師	日本	12
Jigoku Shoujo	地獄少女	日本	16
Read or Die Citeste sau mori	R. O. D -READ OR DIE	日本	12
Tokyo Mew Mew	東京ミュウミュウ	日本	
Yu-gi-oh GX	遊戯王デュエルモンスターズGX	日本	12

出所： アニマックス社ウェブサイトより、ジェトロ作成

表 8： アニメ放送テレビ局 視聴率の推移

テレビ局	比較年・月	視聴率(*2)	占拠率(*2)	視聴者数
アニマックス(*1)	2006年4月	0.2	0.9	22,000
	2007年4月	0.3	1.3	28,000
Jetix	2006年4月	0.3	1.3	32,000
	2007年4月	0.3	1.7	18,000
AXN	2006年4月	0.2	0.8	19,000
	2007年4月	0.2	0.8	18,000

出所 : Romaniam Media Explained ウェブサイトより、ジェトロ作成

備考(1) : 午後8時まではミニマックスが放送。

備考(2) : 「視聴率」とは全世帯中、当該テレビ局を見ていた割合。

「占拠率」とはテレビを点けていた世帯中、当該テレビ局を見ていた割合。

「アニマックス」といった日本アニメを専門に取り扱うテレビ局が存在しているものの、ルーマニアで放送されている日本のアニメは限られている。熱狂的なアニメファンは同局で放送されている作品だけでは物足りず、インターネット、つまり違法ダウンロードに頼っている。

また、アニメ DVD やキャラクター商品を購入しようとしても、正規版はほとんど市場に出回っていないのが現状である。ルーマニアで発売された DVD は、「スチームボーイ」、「パプリカ」、「鉄コン筋クリート」のみである。外国から輸入された日本アニメの DVD は、種類も少ない上、所得の少ない若者にはとても手が出せない価格(平均 80 レイ=約 3,360 円。以下本調査では、2008 年 3 月 4 日時点のレート 1 レイ=41.98 円で計算する)で販売されている。

2008 年 1 月、「インディペンデント・フィルム (Independenta Film) 」が発売予定の「アジア・コレクション」の中に、「スタジオ・ジブリ」の作品が含まれているようだが、3 月現在発売されていない。

2) アニメファン団体

日本文化に興味のあるルーマニア人は、2 つに大別できる。1 つ目は、アニメやマンガ、音楽が好きな層、2 つ目は、生け花や茶道といった日本古文化に魅了された層である。特に前者、アニメ・マンガに興味がある若者達は、ルーマニアで着実に増えてきている。

例えば、アニメファン団体が設立した「有限会社 プロジェクト・サクラ(Project Sakura)」は2006年10月、アニメファンの集いと、まだ認知度の低い日本アニメを一般に普及させる試みを兼ねた、アニメ文化を中心とした日本総合イベント「ニジコン」(Niji Kon)を開催した。金銭的なスポンサーとしてハンガリーの出版社(一般書/マンガ/トレーディングカードを取り扱う)「デルタ・ビジョン(Delta Vision)」がスポンサーシップとして参加し、在ルーマニア日本国大使館からも設備(書道道具や生け花等)の援助を受けている。2007年は、初回開催時(2006年)の500~1,000人を上回る1,500人の来場者があり、2008年は2,000人の来場を見込んでいる。

ニジコンは一般客への入場料を課していない。現在はアニメファン層を拡大し、各方面からの投資を誘致しようというのが一番の狙いであり、当イベントはアニメファン団体による一種のマーケティング・ストラテジーととらえることができる。

日本アニメが着実に拡張しているのは事実だが、「プロジェクト・サクラ」といった個人による小規模な団体が様々な会社に働きかけ、アニメ市場を発展させようと試みている。例えば、ハンガリーのアニメチャンネル、「アニマックス」もマーケティングの一環として、当イベントに参加している。

3) アニメ放送の影響による新しいトレンド

ルーマニアでアニメが普及し始めてから出現したといえる新しい市場に、トレーディングカードゲームがある。2004年からケーブルTVチャンネル「アップルス(現在のアニマックス)」で放送された「遊戯王」がきっかけとなり、カードゲームの認知度が高まり始めた。

当時は店頭での正規カード購入は不可能であったが、2006年にDVD・書籍専門店の「ディヴェルタ(Diverta)」がカードを輸入・販売し始め、徐々に人気が出た。

ブカレスト市内で卓上ゲームやトレーディングカードを取り扱う「ホビーストア(欧州の遊戯王トレーディングカード製造会社から輸入)」の経営者は1週間に一度、参加費無料のトレーディングカード・トーナメント大会を行っている。以前は、携帯電話会社の「オレンジ(Orange)」と共同で本大会を開催していたが現在は独立した。また、年に一度「ナショナル・トーナメント」が開催され、ルーマニア各地からファンが参加する。

開催当初は10人前後であった参加者も、今では50名ほどにまで増加している。参加者は平均13~15歳の中学生が中心であり、インターネット、ディヴェルタ、そしてホビーストアか

らカードを購入している。トーナメント参加者によると、正規の商品をインターネットで購入すると送料・税金が課されるため高価となり、店頭とネット上での価格に大差はない。ホビーストアで販売されるカードは、9枚入りセットで15レイ(約630円)である。なお、さらに低価格ではあるが、香港や中国で作られた偽造品は質も悪く、トーナメント主催者から断られるケースも少なくないという。正規カード価格は決して安くないものの、参加者は増加している。

トーナメントの規模はまだ小さいが、ファンが少ないというわけではない。トレーディングカードは低年齢層にとっては価格が特に高いため、普及率はその分低くなる。

II. マンガ市場

1) マンガ普及の状況

2008年3月時点、ルーマニアにおいてマンガ専門店は存在しなく、国内のマンガ市場は発展していない。しかし、そのような状況の中でも、マンガの読者は存在する。ルーマニアでのマンガ購入方法は以下2つである。

1つは、「Mangashop.ro」と呼ばれるルーマニアのインターネットマンガ販売専門サイト <http://www.mangashop.ro/>、そしてもう1つは一般書店での購入である。

マンガを購入できる書店はブカレスト市内には「カルトゥレシュティ (Carturesti)」、「アンソニー・フロスト (Anthony Frost)」の2店舗しかなく、種類も非常に少ない。そのため、読者のほとんどは上述したインターネットサイト「Mangashop.ro」から購入している。同サイトで販売されている書籍は全て(「オタク・マガジン」を除く)英語圏(主に米国)から輸入されたものである。同サイトを運営するコムサ氏によると、2007年1月の売り上げは3,000レイ(約126,000円)であったが、2007年12月は1万レイ(約420,000円)まで伸び、これからも上昇が続く見込みであるという。当サイトのマンガ一冊価格は20~30レイ(約840円~1,260円)程度である。ルーマニアがEUに加盟し、米国からの書籍関税率の低下、また所得の増加が需要の高まりに影響していると思われる。

売れ行きの傾向は、テレビ放送されているアニメを含め、「NARUTO」や「BLEACH」といった少年マンガが人気である。

2) マンガ出版会社

ルーマニアでのマンガ出版は皆無に等しいが、ハンガリーの「デルタ・ビジョン」が2007年10月、初めてルーマニア語訳された日本のマンガを出版した。同社は、近年ルーマニアに店舗を構える意向を示しており、マンガファンの期待は大きい。

現在、ルーマニアにおけるマンガ出版が滞っている理由は、出版社が市場規模より収益を得られる確証が無いこと、また、印刷代が高いことが挙げられる。そのため、「デルタ・ビジョン」はハンガリーで印刷したコミックを、ルーマニアへ輸出している。また、「Mangashop.ro」を利用するにはクレジットカード決済が不可欠であり、若年層の購入は容易ではない。

表9： インターネットサイト「Mangashop.ro」での人気ランキングと販売価格

位	題名	価格(レイ)
1.	オタク・マガジン 3巻	20
2.	NANA 1巻	25
3.	デスノート 1巻	23
4.	オタク・マガジン 2巻	12
5.	デスノート 2巻	23
6.	NARUTO 1巻	23
7.	NANA 2巻	25
8.	Blame! 1巻	29
9.	デスノート 5巻	23
10.	デスノート 3巻	23

出所：Mangashop.ro ウェブサイトより、ジェトロ作成

備考：2008年3月4日時点 1レイ=41.98円

(参考) インターネット利用者の推移 単位：1,000人

年	利用人数	%
2000	800,000	3.6
2004	4,000,000	18.7
2006	4,940,000	23.4
2007	5,062,500	23.9

出所：Internet World Stats ウェブサイトより、ジェトロ作成

Ⅲ. テレビ業界

ルーマニアのケーブルテレビ普及率は他の欧州国と比べて高い。約 730 万世帯中 88%がテレビを所有しており、そのうち、ケーブルテレビを接続している世帯は全人口の 58%(EU 平均は約 32%)である。都心部でのケーブルテレビ普及率は 80%、郊外や地方では 13%、また、10～15 チャンネルしか受信できない世帯もあれば、50～55 チャンネル受信できる世帯もあり、都心部と地方との差は大きい。

表 10： 2003 年 TV 視聴者状況

テレビ保有世帯 *単位 100 万	6,763
①ケーブルテレビ	58.0%
②地上波	42.0%
③衛星放送/DTH(デジタル衛星放送)	2.9%
④衛星放送/SMATV(衛星共同受信)	0.9%

出所:EUMAP ウェブサイトより、ジェトロ作成

表 11： 2003 年 ケーブルテレビの契約者

人口(単位:100万)	21.8
ケーブルテレビ普及率(%)	58
テレビ保有世帯(単位:100万)	6.763
国民1人当たりのGDP(ユーロ)	2,320

出所:EUMAP ウェブサイトより、ジェトロ作成

ルーマニアのテレビ局は全国で約 72 局あり、国营放送局として「TVR(ルーマニアテレビ)」、主要な民間放送局として「ProTV」、「Antena1」(当 2 局は「中欧メディア・エンタープライズ(CME)」が所有)、「PrimaTV」などがある。ほとんどの商業放送局は衛星を利用し放送しているが、地上波による放送を行うテレビ局もある。

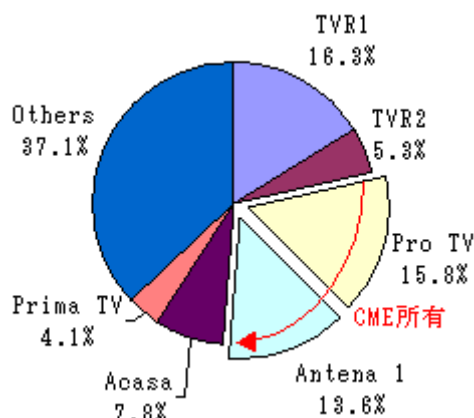
ルーマニアの 1 日の平均テレビ視聴時間は、2006 年時点で 322 分(男性 314 分、女性 320 分、4～14 歳の子供は 276 分)を記録している(出所:国营 TVR 放送局)。また、番組内の宣伝「コマーシャル」は、放送時間の最高 15%、一度につき 12 分以内で許可され、30 分以内のニュースや子供番組での宣伝は禁止されている。ルーマニアで最も放送されているコマーシャ

ルは、食料品(29%)、化粧品・家庭内用品(22%)である (CME 中欧メディア・エンタプライズ・レポート 2005 年より)。

2006 年のテレビ業界占有率は、国営放送局の TVR1(16.8%)、商業放送局の Pro TV(15.8%)、Antena1(13.6%)。TVR は、4 つのチャンネルを抱えており、最も視聴者の高い局は、TVR1 と TVR2 である。

同局が最も放映時間を割当てた番組カテゴリーは、TVR1 ではフィクション (ドラマ・映画等) (2,123 時間)、情報 (社会・経済トークショーやドキュメンタリーなど) (1,199 時間)、ニュース(949 時間)、TVR2 ではフィクション(2,717 時間)、情報(1,296 時間)、宣伝(711 時間)である。

表 12： テレビ放送局の占拠率*



出所： Romanian Media Explained ウェブサイトより、ジェトロ作成

備考： 「占拠率」とはテレビを点けていた世帯中、当該テレビ局を見ていた割合。

国営放送局は占有率では他局の数値を上回っているが、視聴率の上位は商業放送局や他の小規模な放送局が占めており、TVR は 5 位となっている。

表 13： 2008 年 2 月 テレビ局別視聴者数

	テレビ局	視聴者数
1.	Pro TV	348,000
2.	Antena 1	219,000
3.	Acasa TV	179,000
4.	Realitatea TV	129,000
5.	TVR 1	126,000

6.	Prima TV	110,000
7.	Kanal D	87,000
8.	OTV	80,000
9.	Antena 3	74,000
10.	National TV	58,000

出所：Romanian Media Explained ウェブサイトより、ジェットロ作成

近年、上述した3つの商業放送局とは別に、勢力を伸ばしつつある放送局がある。2007年に放送を開始した「Kanal D」は、2008年2月の視聴率調査では7位にランクインしている。他の放送局を含め、視聴率は徐々に上昇している(表13参照)。

表14： テレビ業界における主要放送局以外の視聴率推移

単位：1,000人

	テレビ局	視聴率(*)	視聴率	占拠率(*)	占拠率	視聴者数	視聴者数
		2006年4月	2007年4月	2007年4月	2007年4月	2006年4月	2007年4月
1.	Realitatea TV	1.2	▲0.9	5.8	4.3	138	▲92
2.	Antena 3	0.3	0.5	1.5	2.6	37	55
3.	OTV	0.4	0.5	1.9	2.5	46	53
4.	National TV	0.6	▲0.5	2.7	2.4	64	▲51
5.	Kanal D	n. a.	0.5	n. a.	2.3	n. a.	49
6.	BITV	0.3	0.4	1.6	1.8	37	38
7.	JETIX	0.3	0.3	1.3	1.7	32	37
8.	TV Sport	0.4	▲0.3	1.7	1.7	42	▲35
9.	Pro Cinema	0.3	0.3	1.3	1.6	31	33
10.	ETNO	n. a.	0.3	n. a.	1.4	n. a.	30
11.	Minimax/A+	0.2	0.3	0.9	1.3	22	28
12.	Discovery	0.2	0.2	0.8	1.0	19	21
13.	Hallmark	n. a.	0.2	n. a.	1.0	n. a.	20
14.	N24	0.2	0.2	0.9	0.9	22	▲19
15.	Eurosport	n. a.	0.2	n. a.	0.9	n. a.	19

出所：Romanian Media Explained ウェブサイトより、ジェットロ作成

備考：「視聴率」とは全世帯中、当該テレビ局を見ていた割合。

「占拠率」とはテレビを点けていた世帯中、当該テレビ局を見ていた割合。

IV. 映画市場

1) 映画館数と入場料の推移

ルーマニアで公開されている映画の大半は米国作品であり、次に欧州映画、ルーマニア映画と続く。

表 15： 2001 ～ 2006 年 長編映画の制作国 単位：本

制作国	2001	2002	2003	2004	2005	2006
国内映画	151	120	100	81	76	44
欧州映画	52	57	67	81	81	86
米国映画	278	282	280	250	248	212
その他	4	4	6	10	7	17
合計	485	463	453	422	412	359

出所： Cinematografie National al inematografieよりジェトロ作成

2005年と比べ2006年の映画公開本数や動員数が削減したにもかかわらず、2006年の興行収入は以前より伸びている。また、平均入場料を見ると2003年の3.78レイから2006年には10.19レイと、およそ3倍値上がりしている。賃金が値上がりしているが、2003～2006年の賃金上昇率は2倍強であり、入場料の値上がりが目立つ。また、EU加盟国を例にしていえば、EU加盟国の2007年第3四半期平均賃金は2136.80ユーロ、そして映画入場料は8ユーロ前後である。しかし、ルーマニアの第3四半期の平均賃金は約411ユーロ、映画入場料はおよそ3ユーロ(2008年3月4日時点 1レイ=3.7329ユーロ)にとどまる。ルーマニアでの映画鑑賞は明らかに贅沢なエンタテインメントといえる。

2002年には国民一人当たりの動員比が0.24%だったにもかかわらず、2006年には0.13%にまで減少している。この要因として、入場料の値上がりが大いに関わっていると思われる。

また、2001年には259館あった映画館が、2006年には73館にまで減少している。その背景にはマルチプレックス・スクリーン（シネマコンプレックス）の発展がある。2006年のマル

マルチプレックス興行収入は、2,095万4,250レイで、国営映画館は395万6,126レイとマルチプレックスの1/5以下である。映画市場の70%はマルチプレックスの興行収入が占めている。

映画館の減少が映画配給数に影響を及ぼすのではないかという不安の声があるが、新しく出来たマルチプレックスで減少分を補っているといえる。

表 16： 2001 ～ 2006 年 映画館一般概要

	2001	2002	2003	2004	2005	2006
映画館数	259	230	191	155	85	73
座席数	110,861	98,480	86,889	70,496	50,220	44,643
動員数	5,726,248	5,316,388	4,527,054	4,002,349	2,829,563	2,776,516
興行収入 (RON)	15,415,730	20,122,042	22,451,582	24,872,000	24,423,454	28,279,665
国民 1 人 当たりの動員比	0.26	0.24	0.21	0.19	0.13	0.13
平均入場料 (RON)	2.69	3.78	4.95	6.21	8.60	10.19

出所： Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

表 17： 2006 年 国営映画館別動員数 上位 20 館

	映画館	都市	座席数	動員数
1	REPUBLICA	クルージュ・ナポカ	960	173,007
2	LUCEAFARUL	ブカレスト	541	81,167
3	STUDIO	ブカレスト	380	76,541
4	ARTA	トゥルグ・ムレシュ	618	58,632
5	PATRIA	クライオバ	708	58,572
6	ARTA	クルージュ・ナポカ	255	46,792
7	PATRIA	ブカレスト	1,014	31,917
8	DACIA	アラド	741	31,009
9	ARTA	シビウ	237	29,266
10	CAPITOL	ティミショアラ	1,017	28,846
11	REPUBLICA	ヤシ	858	28,795
12	VICTORIA	ヤシ	902	24,822
13	CORSO	ブカレスト	273	17,751

14	CENTRAL	バカウ	650	15,291
15	EUROPA	ブカレスト	329	14,996
16	SCALA	ブカレスト	860	14,857
17	GLENDALE STUDIO	ブカレスト	170	12,763
18	TIMIS	ティミショアラ	621	12,671
19	TINERETULUI	トゥルグ・ムレシュ	170	11,128
20	ARTA	デジ	424	9,795

出所 : Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

表 18 : 2006 年 マルチスクリーンとマルチプレックス

映画館	都市	スクリーン数	座席数	動員数
MODERN	ブラショフ	2	180	16,362
DACIA	ビストリツァ	2	590	9,343
GO MULTIPLEX	ブラショフ	3	243	28,960
GLENDALE IASI	ヤシ	3	500	21,944
GLENDALE TOMIS MALL	コンスタンツァ	4	584	37,631
CITY CINEMA	ブカレスト	4	552	10,444
HOLLYWOOD MULTIPLEX	オラデア	5	675	144,911
HOLLYWOOD MULTIPLEX	ブカレスト	10	2,125	880,284
MOVIEPLEX CINEMA	ブカレスト	11	2,531	687,858

出所 : Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

2006年の映画館別動員数を見ると、クルージュ・ナポカ市が第2位のブカレスト市の動員数をはるかに上回っているが、ブカレスト市に複数点在するマルチプレックスを含めると、やはりブカレストの圧倒的な数値が目立つ(表 16 参照)。

上位2都市の人口を対象に動員数を見ると、1人当たりの動員比は、ブカレスト市0.77%、クルージュ・ナポカ市0.70%と、あまり大差がない。

2) 日本映画・アニメ上映状況

ルーマニア国内の映画館で日本の映画やアニメを目にする事は大変稀である。しかし、インディペンデント・フィルム社が「アジア・コレクション」と題し、DVD を発売することがある。

日本映画の認知度はまだ低いですが、在ルーマニア日本国大使館、国際交流基金、チネマテーカ・ロムーナ（映画館）主催の日本映画祭には、入場料無料ということもあり、多くのルーマニア人が訪れる。（動員数記録はなし）

表 19： 日本映画祭 上映映画

上映年	日本語タイトル
2005 年 12 月	blue
	わらびのこう 蕨野行
	笑う蛙
	ふくろう
	ポストマンブルース
2008 年 1 月	アカルイミライ
	三文役者
	GO
	卓球温泉
	鏡の女たち
	リアリズムの宿
	深呼吸の必要

出所：在ルーマニア日本国大使館、国際交流基金ウェブサイト情報よりジェトロ作成
 （最近の開催年月：2005 年 3 月、12 月、2007 年 2 月、2008 年 1 月）

また、2002 年から始まった文化非営利団体による「FEST' ASIA(アジアフィルム・フェスティバル)」は、韓国、中国、台湾、日本の映画作品を 2 週間（開催年によって期間はさまざま）、ブカレスト市内で連夜上映するイベントである。観客動員数の増加や高い評価から、2 年毎に実施していたフェスティバルは、2004 年から毎年開催されている。

2002 年第 1 回目の観客動員数は 2, 000 人、2004 年は 4, 000 人、2005 年は 5, 000 人を記録した。2006 年は実施期間が短かったため、3, 500 人と前年を下回った。2007 年は、2, 500 人を動員し、東南アジア国の作品を加え、計 50 本の短・長編作品を上映した。

2001 年には宮崎 駿監督の「もののけ姫」が英語吹き替え版で一般劇場公開されたが、米

国の配給会社を通じたものと思われる。それ以降、日本アニメはルーマニアの映画館で一般上映されていない。理由は映画と同様に認知度が低いことと、世界的に有名な「ピクサー」や「ドリームワークス」の作品に比べ、観客動員数が予測不可能であるからだろう。

しかし、アニメ映画は受け入れられているようである。2006年の観客動員数は米国の「アイス・エイジ2」が「ダ・ヴィンチ・コード」に続き2位の11万6,136人を記録し、2007年の興行収入で見ると「シュレック3」が38万2,267ドルで3位に入っている。ピクサーの最新作「レミーの美味しいレストラン」は21万4,412ドルで15位であった。

表 20 : 2006年主要作品別動員数 上位20作品

	題目	動員数 (人)	配給会社	公開日
1	ダ・ヴィンチ・コード	149,463	INTERCOM FILM	2006/05/19
2	アイス・エイジ2	116,136	INTERCOM FILM	2006/03/31
3	パイレーツ・オブ・カリビアン/ デッドマンズ・チェスト	87,373	PROOPTIKI	2006/08/25
4	プラダを着た悪魔	64,075	INTERCOM FILM	2006/10/06
5	ナルニア国物語/第1章:ライオンと魔女	61,039	PROOPTIKI	2006/01/06
6	007/カジノ・ロワイヤル	57,043	INTERCOM FILM	2006/11/24
7	ディパーテッド	43,397	INTERCOM FILM	2006/11/03
8	恋するレシピ~理想のオトコの作り方~	42,837	RO-IMAGE 2000	2006/06/02
9	ピンクパンサー	42,408	INTERCOM FILM	2006/03/03
10	M:i:III	42,065	RO-IMAGE 2000	2006/05/05
11	X-MEN:ファイナル ディシジョン	41,749	INTERCOM FILM	2006/05/26
12	ワイルド・スピード X3 TOKYO DRIFT	40,018	RO-IMAGE 2000	2006/06/23
13	トラブル・マリッジ カレと私とデュプリイの場合	39,681	RO-IMAGE 2000	2006/09/29
14	ディック&ジェーン 復讐は最高!	39,111	INTERCOM FILM	2006/02/17
15	ハニーVS, ダーリン~2年目の駆け引き~	38,507	RO-IMAGE 2000	2006/07/21
16	もしも昨日が選べたら	37,994	INTERCOM FILM	2006/08/11
17	SAYURI	36,092	PROOPTIKI	2006/04/14
18	ビッグママ・ハウス2	35,994	INTERCOM FILM	2006/04/14
19	氷の微笑2	34,852	S. C. PROVIDEO SRL	2006/03/31
20	ガーフィールド2	34,440	INTERCOM FILM	2006/09/01

出所 : Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

表 21： 2007 年 興行収入 上位 20 作品

	題目	興行収入 (ドル)	興行収入 (レイ)	配給会社	公開日
1	パイレーツ・オブ・カリビアン/ ワールド・エンド	449,942	1,097,094	PROOPTIKI	2007/05/25
2	The Heartbreak Kid	439,673	1,072,055	RO-IMAGE 2000	2007/02/11
3	シュレック 3	382,267	932,082	RO-IMAGE 2000	2007/05/18
4	300	377,972	921,609	INTERCOM FILM	2007/03/23
5	ハリーポッターと不死鳥の騎士団	336,817	821,261	INTERCOM FILM	2007/07/20
6	アポカリプト	288,912	704,454	MEDIA PRO	2007/01/05
7	4ヶ月、3週間と2日(*)	274,611	669,584	MOBRA	2007/09/14
8	スターダスト	263,896	643,458	RO-IMAGE 2000	2007/10/19
9	オーシャンズ 13	249,091	607,359	INTERCOM FILM	2007/06/22
10	Now I pronounce you Chuck and Larry	233,336	568,943	RO-IMAGE 2000	2007/08/31
11	Mr. ビーン カンヌで大迷惑?!	227,704	555,211	RO-IMAGE 2000	2007/04/27
12	トランスフォーマー	226,130	551,373	RO-IMAGE 2000	2007/07/06
13	ライラの冒険 黄金の羅針盤	224,301	546,913	INTERCOM FILM	2007/12/14
14	ラッシュアワー3	214,657	523,398	INTERCOM FILM	2007/09/14
15	レミーの美味しいレストラン	214,412	522,801	PROOPTIKI	2007/09/07
16	スパイダーマン 3	210,624	513,564	INTERCOM FILM	2007/05/04
17	アメリカン・ギャングスター	207,345	505,569	RO-IMAGE 2000	2007/12/07
18	ナイト ミュージアム	202,504	493,766	INTERCOM FILM	2007/01/19
19	ダイ・ハード 4.0	200,271	488,321	INTERCOM FILM	2007/06/29
20	ボーン・アルティメイタム	197,129	480,660	RO-IMAGE 2000	2007/08/10

出所： Box Office MOJO ウェブサイトより、ジェトロ作成

備考： (*)ルーマニア映画

参考： 2008年3月4日時点 1レイ=41.98円

表 22： 2001 ～ 2006 年 全上映映画制作国別動員数 単位：人

制作国	2001	2002	2003	2004	2005	2006
国内作品	285,817	626,232	177,719	197,966	134,825	118,469
欧州作品	220,605	362,390	359,891	242,031	211,700	193,200
米国作品	5,120,505	4,279,391	3,930,591	3,539,595	2,454,360	2,448,073
その他	99,321	48,375	58,853	22,757	28,678	16,774
合計	5,726,248	5,316,388	4,527,054	4,002,349	2,829,563	2,776,516

出所： Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

表 23： 映画館で上映された主要作品の年齢指定 単位：本

年齢	2003	2004	2005
全般	170	147	131
14 歳以上	41	50	42
18 歳以上	3	1	7
合計	214	198	180

出所： Centrul National al Cinematografiei よりジェトロ作成

3) VHS、DVD、CD の売り上げ状況

表 24： VHS、DVD、CD で発売された映画の作品数

	2003	2004	2005	2006
本 数	864	1,030	995	1,092
①全般	594	732	668	データ 不明
②14 歳以上	158	164	156	
③18 歳以上	29	34	24	
④成人向	83	100	147	

出所： Centrul National al Cinematografie より、ジェトロ作成

表 25： 販売用及び、レンタル用 VHS、DVD、CD の売り上げ本数

年	2003	2004	2005	2006
本数	215, 595	662, 116	1, 621, 205	2, 581, 395

出所： Centrul National al Cinematografiei よりジェットロ作成

4) ルーマニアでの映画・製作

〈カンヌ映画祭での評価〉

ルーマニア映画も世界で光彩を放っている。ルーマニア共産党時代を描いたクリスティアン・ムンジウ監督の「4ヶ月、3週間と2日」は2007年カンヌ映画祭で最高賞を受賞しており、同監督はハリウッドからも注目されている。

05年はクリスティ・プイウ氏の「ラザレスク氏の最後」が同映画祭で「ある視点賞」を、2006年にはコルネリウ・ポルンボユ氏の「ブカレストの東 12時08分」が新人賞を受賞。2007年はクリスティアン・ムンジウ氏の「4ヶ月、3週間と2日」が「パルムドール賞」を、クリスティアン・ネメスク氏の「カリフォルニア・ドリーミン」が「ある視点賞」を受賞している。

表 25： カンヌ映画祭受賞作品

年	原題名	日本語名	監督	受賞
2004	TRAFIC	TRAFIC	カタリン・ミツレスク	パルムドール (短編部門)
2005	MOARTEA DOMNULUI LAZARESCU	ラザレスク氏の最後	クルスティ・プイウ	ある視点賞
2006	A FOST SAU N-A FOST?	ブカレストの東 12時08分	コルネリウ・ポルンボユ	新人賞
2007	4 LUNI, 3 SAPTAMINI SI 2 ZILE	4ヶ月、3週間と2日	クリスティアン・ムンジウ	パルムドール賞 (最高賞)
	CALIFORNIA DREAMIN' (NESFARSIT)	カリフォルニア・ ドリーミン	クリスティアン・ネメスク	ある視点賞

出所：カンヌ映画祭ウェブサイトより、ジェットロ作成

〈他国によるルーマニアでの映画製作〉

近年、中・東欧地域(ブルガリア、チェコ、ルーマニア等)で撮影された米国作品が目立っている。その理由に制作費が安いことが挙げられる。ルーマニアには、「メディアプロ・スタジオ(Media Pro Studio)」と「キャッスル・フィルム・スタジオ(Castel Film Studio)」などのスタジオがある。

「メディアプロ・スタジオ」は1998年に「ブフテア・フィルム・スタジオ(the Buftea Film Studio)」が「メディアプロコーポレーション」(商業放送局「ProTV」も所有)により買収され改名した。過去50年に600以上の作品を手掛けており、総面積50万平方メートル、湖や水タンクといった様々な用途に合わせて作られたセットが用意されており、ルーマニアで最大のスタジオである。

「キャッスル・スタジオ」はこれまで100本以上の映画を手掛け、ロンドンのベーカー街や米国西部の町並みなどが目立つ。制作費はチェコやハンガリーよりも25～30%低価格とされる。

設備の整ったスタジオ以外に、ルーマニア独自の自然美は他国の映画製作者を魅了している理由の一つともいえる。

V. 関連企業ディレクトリ

1) アニメ関連

アニマックス (アニメ専用チャンネル)	http://www.animaxtv.ro/
Antal Solti (プログラムマネージャー)	antal_solti@spe.sony.com
TEL :	+36 1 372 3870
FAX :	+36 1 372 3890
Jetix(テレビ局/アニメ放送有)	http://www.jetix.ro/
Ana Ghica (PR、マーケティング代表)	ana.ghica@innovad.ro
TEL :	+40 31 1000 24 68
FAX :	+40 31 1000 24 69
UpperDECK (遊戯王トレーディングカード販売会社)	http://entertainment.upperdeck.com/ude/en/
TEL :	+31 294 461 600
FAX :	+31 294 492 401
ホビーストア (遊戯王トレーディングカード販売店)	http://www.fantasygames.ro/
Florian Alexandrescu (経営者)	florin21_alexandrescu@yahoo.com
TEL :	+40 727 297 345

2) アニメ団体関連

プロジェクト・サクラ Dan Comsa (運営者) TEL :	http://www.projectsakura.com/ dancomsa@projectsakura.com +40 766 246 921
ANIME MANIA(コミュニティーサイト)	http://www.anime-mania.ro/
OTAKU(コミュニティーサイト)	http://www.manga.ro/site_nou/index.php
MANGA-ANIME(コミュニティーサイト)	http://magia-anime.uv.ro/news.php
ANIME-CLUB(コミュニティーサイト)	http://www.anime-club.ro/
ANIME-XG(コミュニティーサイト)	http://www.anime-xg.ro/index.php?page=member/news

3) 書籍関連

Mangashop.ro(マンガ取扱専門サイト)	http://www.mangashop.ro
デルタ・ビジョン(マンガ出版会社) Pal Villanyi (最高経営者) TEL : FAX :	http://www.deltavision.hu/ sales@deltavision.hu +36 450 974 3244 +36 450 974 3242
カルトウレシュティ (マンガ販売店) Email : TEL :	http://www.carturesti.ro/ info@carturesti.ro +40 317 34 59
アンソニー・フロスト(マンガ販売店) TEL :	45 Calea Victoriei Bucharest +40 21 311 5128

4) テレビ・映画関連

eumap.org(欧州統計・情報サイト)	http://www.eumap.org/
EMAIL :	eumap@osi.hu
TEL :	+36 1 327 3100
FAX :	+36 1 327 3103
Romanian Media Explained (ルーマニア情報サイト)	http://www.comanescu.ro/
EMAIL :	office@comanescu.ro
TVR	http://www.tvr.ro/
Oana Ghica	oana.ghica@tvr.ro
TEL :	+40 21 319 9008
FAX :	+40 21 319 9264
Centrul National al Cinematografiei (ルーマニア映画協会)	http://www.cncinema.abt.ro/
Eugen Serbanescu	eugenserbanescu@cncinema.ro
TEL :	+40 310 4301
FAX :	+40 310 4300
Box Office Mojo (興行収入データ取扱サイト)	http://www.boxofficemojo.com
EMAIL :	info@boxofficemojo.com
メディアプロ・スタジオ(撮影スタジオ)	http://www.mediapropictures.ro/
Silviu Viju(最高経営者)	silviu@mediasat.ro
TEL :	+40 31 825 1801
FAX :	+40 31 825 1839

キャッスル・フィルム・スタジオ
(撮影スタジオ)

Vlad Paunescu (最高経営者)

TEL :

FAX :

<http://www.castelfilm.com/>

vlad.paunescu@castelfilm.ro

+40 21 222 5565

+40 21 222 5559

5)DVD 関連

Prooptiki (日本アニメ DVD 配給会社)

TEL :

FAX :

<http://www.prooptiki.ro/>

+40 21 311 9644

+40 21 311 9645

Independenta Film

TEL :

FAX :

benjamin@imv.ro

+40 21 211 11 26

+40 21 211 1126